

【エクアドル経済:2022年8月】

経済指標

(1)経済成長予測

シティバンクは中南米カリブ地域の最新の2022年経済成長予測において、エクアドルは1.8%が見込まれる旨を発表し、同地域は米国の高金利による資金調達の複雑化や、世界の主要経済圏の景気後退に直面する可能性があるとの指摘した。シティグループのレヴィラ中南米地域経済担当は、同地域におけるインフレはすでにピークに達しており、輸送や一部の原材料コストの低下に表れているとしている。

(2)中南米地域における経済成長

ラテンアメリカ・カリブ海経済委員会(ECLAC)は最新の報告書において、同地域はウクライナ紛争、高いインフレ率、新規雇用の少なさや投資の落ち込み等により、非常に複雑な状況に置かれている旨指摘した。エクアドルについて、同委員会は2022年の経済成長率予測を2.7%とし、パンデミックにより2020年に生じた経済的損失を回復するためには2023年まで時間を要している。中南米カリブ地域33か国のうち16か国がパンデミック以前のGDPの水準を回復しておらず、今年最も経済の成長が見込まれるのはベネズエラ(10%)であり、続いてパナマ(7%)、コロンビア(6.5%)、ドミニカ共和国(5.3%)、ウルグアイ(4.5%)、グアテマラ(4%)、ホンジュラス(3.8%)、ボリビア(3.5%)、アルゼンチン(3.5%)となっている。

(3)非正規雇用率

国立統計・国勢調査研究所(INEC)は、2022年上半期において国内の労働者の2人に1人(51.6%)が非正規雇用である旨発表した。この数字は2021年6月時点の49.9%から1.7%の上昇となる。さらに、正規雇用者についても社会保障システム(IESS)に加入している労働者は全体の25%強にとどまっている。

(4)エクアドルの投資リスク

米国国務省は160以上の国の経済に関する2022年の投資環境分析を発表。同報告書はエクアドル経済に関し、ラッソ政権が投資促進を図る一方で、長期的には投資リスクの高い国であると評価している。行政府と国会が対立しているため、必要な経済改革法案が成立していない点に加え、経済や投資政策が政権によって左右されるため、エクアドルでのビジネスはリスクやコストが高まる可能性があるとの指摘している。

(5)債務の滞納

経済財務省の予算執行統計によると、6月の滞納額は27億米ドルであったところ、7月には16億米ドル(GDPの1.6%)と大幅な減少をみせたが、財政政策研究所所長でラッソ大統領の元顧問であるカレラ氏は、この現象は政府の支払い義務が追い付いたということではなく、データの訂正が行われたことによるものである旨指摘している。経済財務省は債務の支払いが滞っている点を認めつつ、早期の完済に向けあらゆる努力をしているとコメントした。6月末時点での公的債務は640億9,100万米ドルにのぼり、GDPの56.33%に相当する額となっている。

貿易

(1)輸出の伸び

エクアドル中央銀行(BCE)は、2022年上半期における世界各国への輸出は168億6,800万米ドルを記録し、2021年同期比+34%(42億8,300万米ドル)となった。このうち、非原油製品の輸出が106億1,300万米ドル、原油の輸出が62億3,600万米ドルにのぼっている。エクアドル輸出業者連盟(FEDEXPOR)によると、非原油・鉱物資源製品の輸出額は96億1,200万米ドルとなっており、2021年同期比+24%、全輸出額の54%にのぼる。なお、エビの輸出は2022年6月までに71%増加し、非原油・鉱物資源製品の首位を占めている。

(2)対アジア貿易

フランスの海運会社、CMA CGM がグアヤキルのポソルハ港から正式に運行を開始した。アジア地域との貿易の多くが同港を窓口として行われるため、これにより輸出企業はアジア市場への直接的なアクセスが可能となり、海上輸送時間も短縮される見込み。CMA CGM 社は、ポソルハ港と中国、日本、及び香港間を結ぶ11隻の船舶を常時ローテーションで運行する予定。特に中国との貿易額が増加しており、2022年1～5月にかけての対中輸出額は18億200万米ドルにのぼっている。

二国間関係

会計検査院は中国の CAMC Engineering 社が建設を進めた、国内セキュリティシステムの ECU911や金融系省庁が集まる総合庁舎のプラタフォルマ・フィナンシエラを含む公共事業において複数の不正が発覚したとし、合計4,470万米ドルにのぼる国家に対する損害がある点指摘した。ECU911に関しては、当初6,890万米ドルの契約で14の建物建設が合意されたものの、CAMC 社は同額で7棟のみを建設し、この不正に関し990万米ドルの制裁金を要求されていた。しかし、前副会計監査人のセリ氏及びペレス氏は CAMC 社による賄賂と引き換えに、ECU911を含む全損害額のうち4,210万米ドル分の記録を帳消しにしたうえ、CAMC 社は損害に対する制裁措置の取り消しを求めている。